

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/09/27

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.39	-0.39
JPY/THB	0.2237	-0.0028
USD/JPY	144.81	0.06
EUR/THB	36.20	-0.29
EUR/USD	1.1177	0.0044
USD/CNH	6.973	-0.060
SGD/THB	25.24	-0.17
AUD/THB	22.33	-0.03
USD/INR	83.64	0.04
USD Index	100.56	-0.35

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.228	0.020
10Y (THB)	2.479	0.006
5Y (USD)	3.567	0.042
10Y (USD)	3.796	0.011

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,670.4	9.7
WTI (Oil)	67.67	-2.02
Copper	10,080.5	267.5

Stock

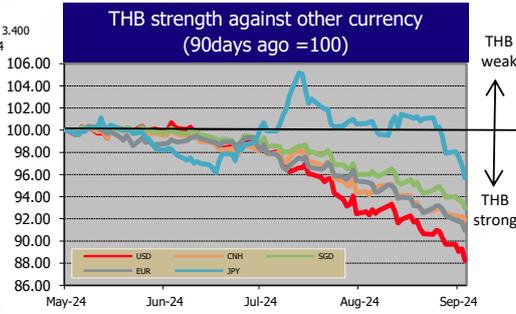
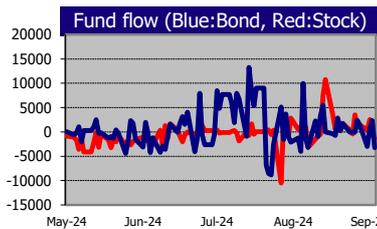
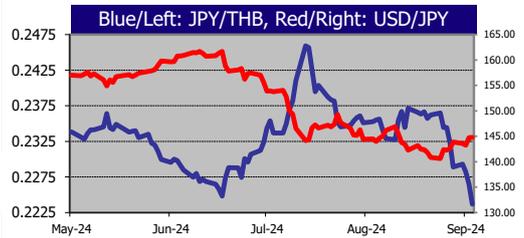
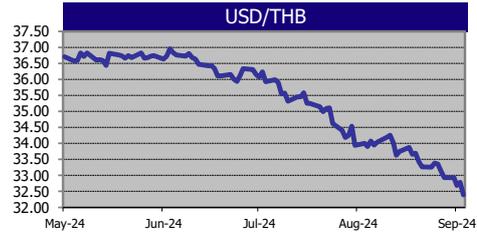
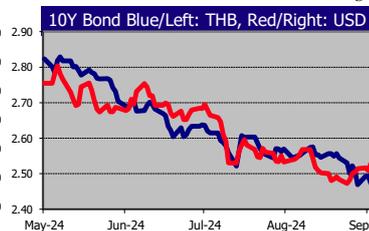
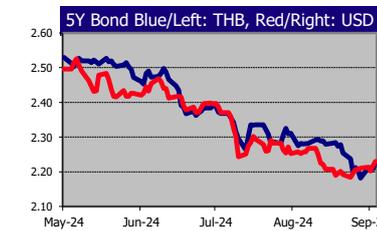
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,455.03	-6.55
NIKKEI (JP)	38,925.63	1055.37
DOW (US)	42,175.11	260.36
S&P500 (US)	5,745.37	23.11
SHCOMP (CN)	3,000.95	104.65
DAX(GER)	19,238.36	319.86

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,326)	-771.3
Bond net flow	(3,230)	-5572.1

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは下落。32パーツ台後半でスタート。バンコク時間では方向感なく、同水準での推移が継続した。タイ商務大臣が「ドルパーツの妥当な水準は35-36パーツ」とコメントしたほか、中銀へ利下げ要請の姿勢を示してもパーツ高のトレンドを止められず、欧州時間に入るとドルパーツは32パーツ台半ばまで一段と値を下げた。NY時間朝方に米第2Q期GDPが予想を上回ったことや米新規失業保険申請件数が予想を下回ったことを受けて反発するも、終盤にかけて続落し、32.39レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅上昇。144円台後半でスタートした後、日経平均株価の上昇を横目に円売りが優勢となり、高値圏での推移が継続し、東京時間午後145円台まで値を伸ばした。しかしその後米金利の低下が重しとなり、NYオープン前は144円台前半まで下落した。NY時間朝方に発表された米経済指標が良好な結果となったことを受けて、再び145円台前半まで上昇したが、勢いは長続きせず、午後は144円半ば付近まで反落する場面もあった。終盤にかけて米金利の上昇とともに反発し、144.81レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

今年7月以降ほぼ一辺倒にパーツ高の動きが続いている。タイ経済界の警戒感は強まるばかりで、これまでもピチャイ財務相から「パーツが高すぎる」、商工会議所からは「輸出にパーツ高の影響が出ている」等の発言もあったが、いよいよ来週、財務相と中銀が会談することとなり、タイの金融政策を巡り、政府と中銀が再び対立する様相が強まってきた。以前もセター前首相が中銀に対して度々利下げを要求していたが、今までが景気下支えを背景とした利下げ要求だったのに対し、今回はパーツ高対策が背景となりそうなので第二章の幕開けと言えるかもしれない。報道によれば、1~3%のインフレ目標の確認も議題になる可能性があるようだが、仮に中銀がインフレ目標の変更を通じて利下げに動くようなことになれば、今度は中銀の独立性を巡る新たな懸念が顕在化することにもなりかねず、注意が必要だろう。足元のパーツ高は債券や株式市場に対する海外資金の流入が寄与していると考えられ、迂闊な動きはアジアの各中銀が最も警戒する短期的な資金の逆流、すなわち資本流出を生む可能性がある。また、昨日はスイス中銀が3回連続となる利下げを実施しており、こうしたグローバルな潮流にタイ中銀も参戦を表明すると、アジア域内でも利下げ競争の動きが広がりがねない。今後のタイ政府と中銀の協議の行方は、実のところ世界的な相場動向を見るうえで重要なイベントとなるかもしれない。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.